

## 第4回シニア・高齢者の景気動向に関する意識調査

—今の景気の変化「望ましくない」が4割超。じわりと拡がる暮らし向きの不安！—

2014年1月31日

株式会社ジー・エフ [www.gf-net.co.jp](http://www.gf-net.co.jp)  
〒135-0016 東京都江東区東陽 3-22-6  
電話:03(5633)7844 FAX:03(5633)7854

株式会社ジー・エフ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：岡田博之）は、自社が保有するシニアデータベースを対象に、平成25年度第4回「シニア・高齢者の景気動向に対する意識」について調査を実施しました。（第1回調査4月、第2回調査7月、第3回調査10月実施）調査手法はアウトバウンドIVRによる電話調査。調査期間2013年12月26・27日において、60歳代・70歳代の男女各500人（60～64歳、65～69歳、70～74歳、75～79歳 各250サンプルの均等割付）合計2,000人から有効回答を得ることができました。

### ◆「今の景気の変化が望ましいと思うか？」に対して「望ましくない」が4割以上

「あなたの暮らしにとって、今（現内閣になってから）の景気は望ましい方向に変化していると思いますか？」との質問に対して、「望ましいと思う」という回答の割合は全回答件数の22.7%（第1回調査の結果に比較して6.7ポイント減）、「望ましくないと思う」42.4%（同9.9ポイント増）、「どちらとも言えない」35.0%（同3.2ポイント減）という結果になりました。昨年末の時点では昨春の時点に比較して、景気動向に対する厳しい見方の方が増えたこととなります。

### ◆「実際に暮らし向きが厳しくなってきた」と回答したシニアは、全回答者の1/4

「望ましいと思う」と回答した方（453人）にその理由を聞いたところ「収入が実際に増えてきたから」という回答割合は8.0%（36件：全回答者の1.8%）。「望ましくないと思う」と回答した方（847人）にその理由を聞いたところ「実際に収入が減ったり物価が上がったりして暮らし向きが厳しくなってきたから」という回答割合は59.0%（500件：全回答者の25.0%）という結果になりました。

### ◆今より消費を増やすために必要なことは「将来の生活に対する安心感」が43%

消費を増やすために必要なことは何かを「収入の増加」「将来の生活の安心感」「魅力的な商品・サービス」「わかりやすい広告や説明」「その他」の5択で質問したところ、1位は「将来の生活に対する安心感」43.0%（第1回調査比9.3ポイント減）、「その他」を除く2位は「収入の増加」16.2%（同3.3ポイント増）という結果になりました。

### ◆将来の生活で不安なことは1位「老後の生活費」、2位「介護などの対応」

「不安なことは何か」を次の5択で質問したところ、各選択肢の回答割合は「老後の生活費」32.2%「介護などの対応」25.5%「健康や体力面から買い物や日常生活の問題」19.6%「子供や孫の暮らし向きが厳しくなること」17.8%「その他」5.0%という結果になりました。

※本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、弊社までご連絡ください。  
株式会社ジー・エフ シニアリサーチ担当

## 調査概要

- ◇ 調査対象 : 全国の GF シニアデータベース
- ◇ 有効回答件数 : 2,000 件
- ◇ 標本抽出法 : GF・RTD (ランダム・テレホンナンバー・ダイアリング) 方式
- ◇ 調査方法 : アウトバウンド IVR による電話調査
- ◇ 調査時期 : 平成 25 年 12 月 26 日 (木) 18:00~21:00、27 日 (金) 18:00~21:00
- ◇ 調査主体 : 株式会社ジー・エフ
- ◇ 質問項目
  - 1. 今の景気の変化に対する意識 --- p. 3
  - 2. 今の景気の変化を望ましいと思う理由 --- p. 5
  - 3. 今の景気の変化を望ましくないと思う理由 --- p. 6
  - 4. 消費税の増税による暮らし向きの変化 --- p. 7
  - 5. 消費を増やすために必要なことは何か --- p. 8
  - 6. 将来の生活に対する不安 --- p. 9
  - 7. 参考 : 59 歳以下の景気動向に対する意識 --- p. 10

## 調査結果

表 1 割付 (性別×年代別)

	60 歳代	70 歳代	合計
男性	500s (60~64, 65~69 歳各 250s)	500s (70~74, 75~79 歳各 250s)	1,000s
女性	500s (60~64, 65~69 歳各 250s)	500s (70~74, 75~79 歳各 250s)	1,000s
合計	1,000s	1,000s	2,000s

※比率は小数点第 1 位までを小数点第 2 位四捨五入により表示しております。

## 1.1 今の景気の変化に対する意識 —「望ましくない」が「望ましい」の1.8倍強—

- ◇ 「現内閣になってからの一連の経済政策による景気の変化は、あなたの暮らしにとって望ましい方向に変化していると思うか？」と質問したところ（図 1-1）、「望ましくない」42.4%（昨年4月実施第1回調査では32.5%の回答割合でしたので9.9ポイントの増加）、「どちらとも言えない」35.0%（同4月比3.2ポイント減）、「望ましい」22.7%（同4月比6.7ポイント減）という回答割合でした。昨年4月6日に実施した第1回調査の結果と比較して、景気の動向を厳しく感じているシニア・高齢者が1割近く増加したという結果になりました。

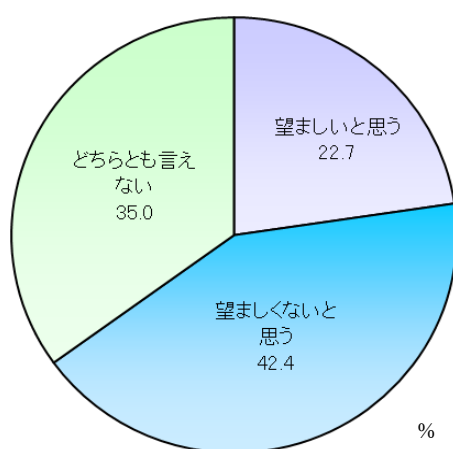


図 1-1 今の景気動向について (n=2,000)

## 1.2 男女別にみる景気の変化に対する意識—「望ましいと思う」は11ポイント乖離—

- ◇ 男女別にみると（図 1-2）、「望ましい」の回答割合は男性28.5%に対して女性は16.8%で11.7ポイントの乖離となりました（同4月比は男女とも6.7ポイント減で減少割合は同率）。「どちらとも言えない」男性31.1%・女性38.9%、「望ましくない」男性40.4%・女性44.3%という結果となり、男性より女性の方が厳しい見方をしていることが現れていました。

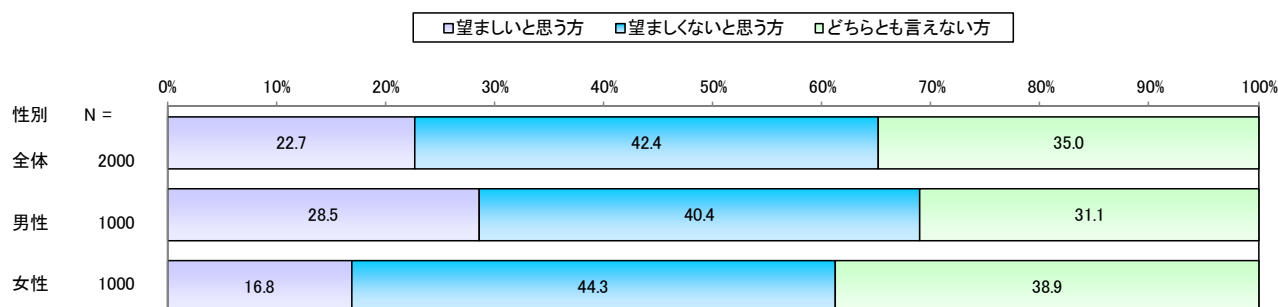


図 1-2 男女別にみる今の景気の変化に対する意識 (n=2,000)

### 1.3 性年代別にみる景気の変化に対する意識 —70代で男女の差大きい—

- ◇ 男性年代別の各選択肢の回答割合は、「望ましくない」60代 44.6%（同4月比 8.8ポイント増）・70代 36.2%（同4月比 3.6ポイント増）、「どちらとも言えない」60代 31.2%（同4月比 4ポイント増）・70代 31.0%（同4月比 3ポイント減）、「望ましい」60代 24.2%（同4月比 12.8ポイント減）・70代 32.8%（同4月比 0.6ポイント減）となり、60代より70代の方が今の景気の動向を積極的に評価している傾向が現れていました。
- ◇ 女性年代別の各選択肢の回答割合は、「望ましくない」60代 46.4%（同4月比 14.0ポイント増）・70代 42.2%（同4月比 13.2ポイント増）、「どちらとも言えない」60代 37.8%（同4月比 7.6%ポイント減）・70代 40.0%（同4月比 6.2ポイント減）、「望ましい」60代 15.8%（同4月比 6.4ポイント減）・70代 17.8%（同4月比 7.0ポイント減）となり、60代70代ともに女性の方が男性より今の景気の動向を厳しく評価しており、性年代別では60代の女性が最も厳しく見ているという結果になりました。

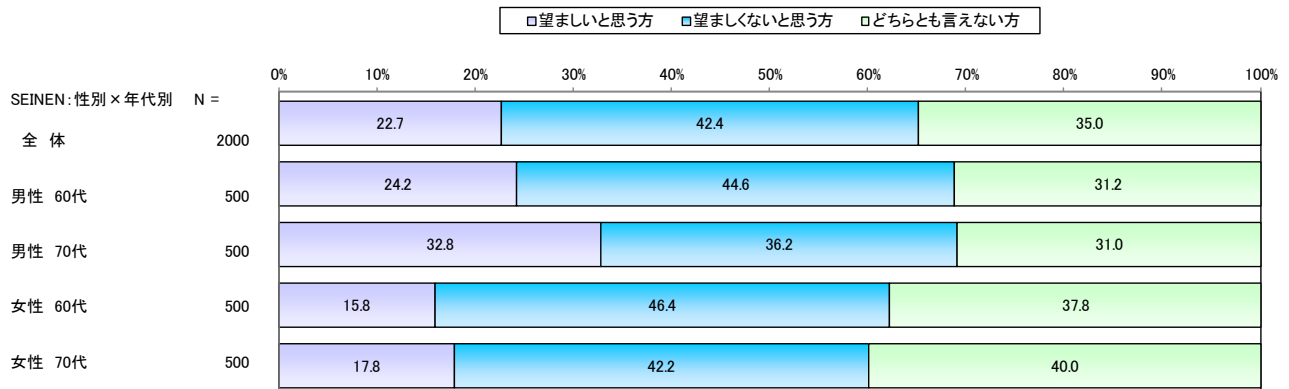


図 1-3 性年代別にみる景気の変化に対する意識 (n=2,000)

## 2.1 景気の変化を望ましいと思う理由 —「収入が実際に増えてきたから」は8%—

- ◇ 今の景気の変化を「望ましい」と回答した方(453人)を対象に「望ましいと思う理由」について次の3択で質問したところ(図2-1)、各回答割合は「今後景気がよくなりそうだから」66.7%(同4月比10.2ポイント減)、「その他の理由」25.4%(同4月比7.7ポイント増)、「自分や家族の収入が実際に増えてきたから」8.0%(同4月比2.5ポイント増)という結果になりました。

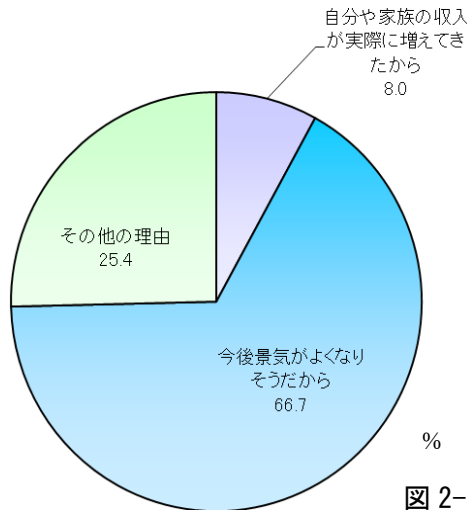


図2-1 景気の変化を望ましいと思う理由 (n=453)

## 2.2 性年代別にみる景気の変化が望ましい理由 —「収入増えた」は男性が多い—

- ◇ 男性年代別の各選択肢の回答割合は、「今後景気がよくなりそう」60代70.3%(同4月比7ポイント減)・70代67.7%(同4月比11.4ポイント減)、「その他」60代18.2%(同4月比2.5ポイント増)・70代22.0%(同4月比7ポイント増)、「自分や家族の収入が実際に増えてきた」60代11.6%(同4月比4.5ポイント増)・70代10.4%(同4月比4.4ポイント増)という結果になりました。
- ◇ 女性年代別の各選択肢の回答割合は、「今後景気がよくなりそう」60代67.1%(同4月比5ポイント減)・70代59.6%(同4月比17.9ポイント減)、「その他の」60代30.4%(同4月比9.7ポイント増)・70代37.1%(同4月比15.3ポイント増)、「自分や家族の収入が実際に増えてきた」60代2.5%(同4月比4.7ポイント減)・70代3.4%(同4月比2.6ポイント増)となりました。

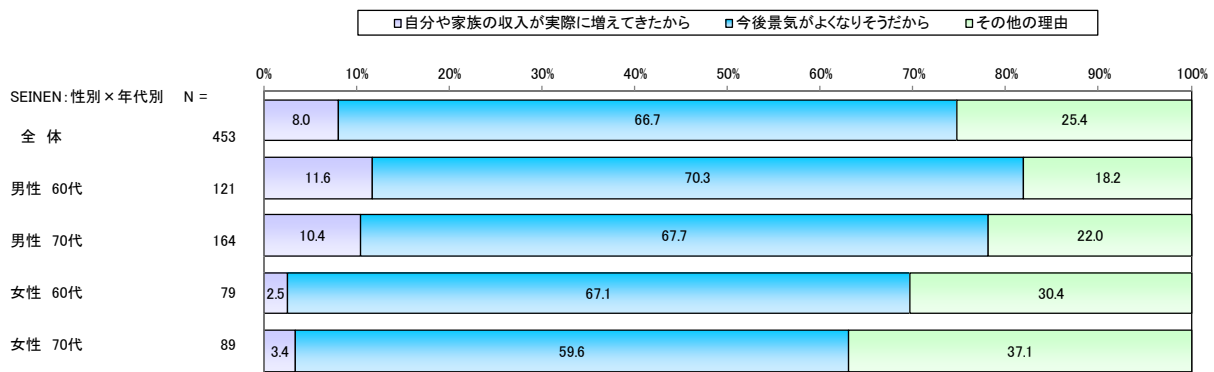


図2-2 性年代別にみる景気の変化を望ましいと思う理由 (n=453)

### 3.1 景気の変化を望ましくないと思う理由—「暮らし向きが厳しくなった」が59%—

- ◇ 今の景気の変化を「望ましくない」と回答した方(847人)を対象に「望ましくないと思う理由」について次の4択で質問したところ(図3-1)、各回答割合は「実際に収入が減ったり物価が上がったりして暮らし向きが厳しくなってきたから」59.0%(同4月比3.1ポイント増)、「国の財政状態が一層悪くなりそうだから」24.3%(同4月比6.5ポイント減)、「その他」8.7%(同4月比1.8ポイント増)、「今後景気が悪くなりそうだから」7.9%(同4月比1.6ポイント増)という結果になりました。

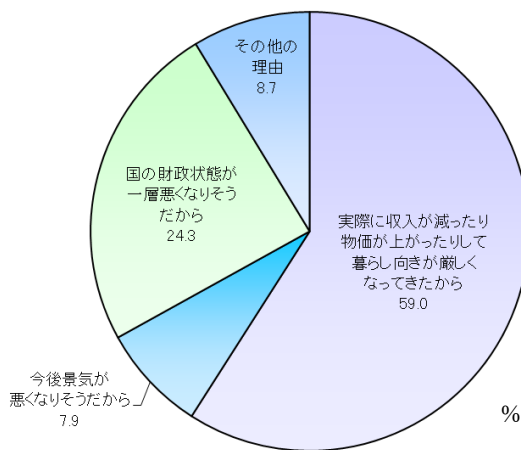


図3-1 景気の変化を望ましくないと思う理由 (n=847)

### 3.2 性年代別にみる望ましくないと思う理由—60代男性は低い「国の財政悪化」—

- ◇ 男性年代別の各選択肢の回答割合は、「暮らし向きが厳しくなってきた」60代60.5%(同4月比0.2ポイント増)・70代59.7%(同4月比5.7ポイント増)、「国の財政状態が一層悪くなりそう」60代19.3%(同4月比9.8ポイント減)・70代24.9%(同4月比8.3ポイント減)、「その他」60代13.0%(同4月比8ポイント増)・70代5.5%(同4月比1.8ポイント減)、「今後景気が悪くなりそう」60代7.2%(同4月比1.6ポイント増)・70代9.9%(同4月比4.4ポイント増)という結果になりました。
- ◇ 女性年代別の各選択肢の回答割合は、「暮らし向きが厳しくなってきた」60代56.5%(同4月比2.8ポイント増)・70代59.7%(同4月比4.6ポイント増)、「国の財政状態が一層悪くなりそう」60代29.3%(同4月比2ポイント減)・70代23.7%(同4月比6.0ポイント減)、「その他」60代8.2%(同4月比0.2ポイント増)・70代7.6%(同4月比同ポイント)、「今後景気が悪くなりそう」60代6.0%(同4月比0.8ポイント減)・70代9.0%(同4月比1.4ポイント増)という結果になりました。

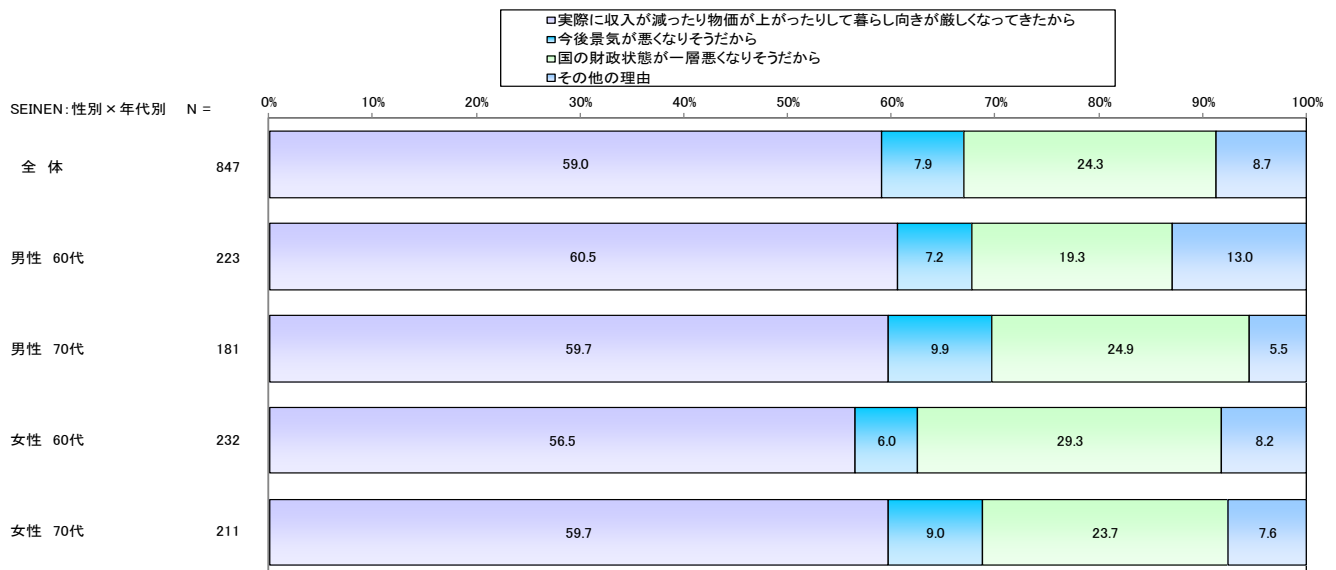


図 3-2 性年代別にみる景気の変化を望ましくないと思う理由 (n=847)

#### 4. 消費税の増税による暮らし向きの変化—「大変厳しくなると思う」が 4 割—

- ◇ 「(4月施行予定の) 消費税の増税によってあなたの暮らし向きに変化があると思うか?」について次の4択で質問したところ(図4-1)、各選択肢の回答割合は「少し厳しくなると思う」41.5%、「大変厳しくなると思う」41.3%、「あまり変わらないと思う」10.8%、「どちらとも言えない」6.5%という結果になりました。8割以上の方が暮らし向きに影響がでると考えており、約4割の方は「大変厳しくなる」と思っていることがわかりました。
- ◇ 性年代別では、「あまり変わらない」の回答割合は60代70代ともに男性が女性の約2倍となっており、「大変厳しくなると思う」の回答割合は70代男性以外はすべて4割を超え、特に女性は60代44.0%・70代45.8%と男性より消費増税の暮らし向きに与える影響を大きいと考えていることが現れていました。

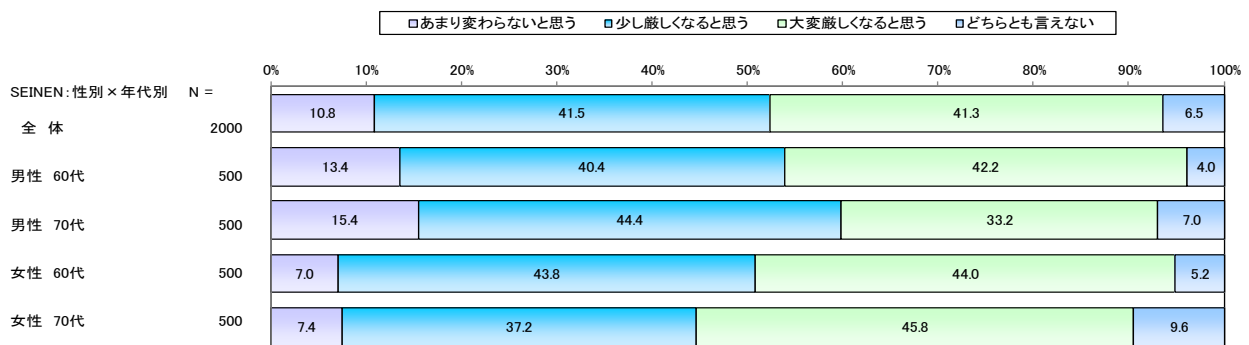


図 4-1 性年代別にみる消費税増税による暮らし向きの変化 (n=2,000)

## 5.1 消費を増やすために必要なこと—「将来の生活の安心感」43%「収入増」は16%—

◇ 「今より消費を増やすために必要なことは何だと思うか？」について次の5択で質問したところ(図5-1)、「収入が増えること」16.2% (同4月比3.3ポイント増)、「将来の生活に対する安心感」43.0% (同4月比9.3ポイント減)、「心から欲しくなるような魅力的な商品やサービスが増えること」7.8% (同4月比2.6ポイント減)、「今売られている商品やサービスのわかりやすい広告や説明」7.9% (同4月比2.1ポイント増)、「その他」25.2% (同4月比6.5ポイント増) という回答割合になりました。

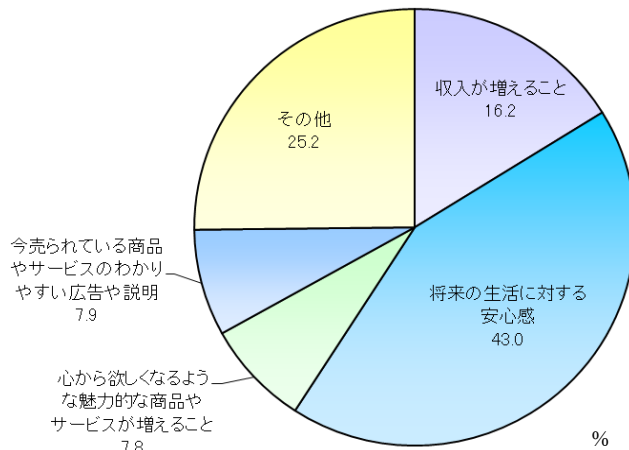


図5-1 今より消費を増やすために必要なこと (n=2,000)

## 5.2 性年代別にみる消費の増加に必要なこと —60代男性の1/4は「収入増」—

◇ 各性年代とも、最も回答割合が高かったのは「将来の生活に対する安心感」(60代男性43.0%・70代男性41.6%・60代女性46.8%・70代女性40.6% (図5-2) となりました。しかし、4月実施第1回調査における回答割合との比較では「将来に対する安心感」の回答割合は減少しており、「その他」以外の選択肢では「収入が増えること」が60代男性25.0% (同4月調査7.6ポイント増)・70代男性16.4% (同4月比4ポイント増) と男性の回答割合が増加した結果になりました。

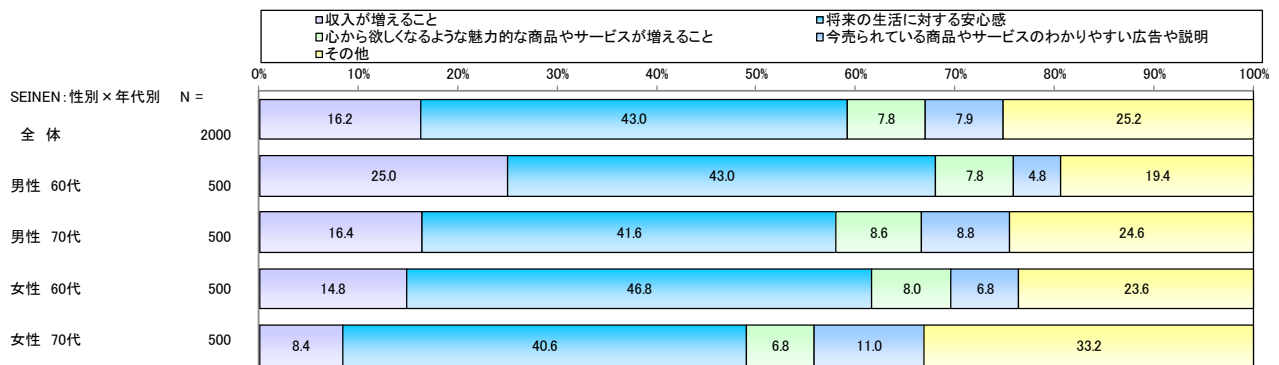


図5-2 性年代別にみる今より消費を増やすために必要なこと (n=2,000)



## 6.1 将来の生活における不安 — 1位「老後の生活費」2位「介護の対応」—

- ◇ 「将来の生活に対する安心感をもつ上で不安なことは何か？」について次の5択で質問したところ、(図6-1)、「老後の生活費が不足すること」32.2%、「介護などが必要になった時に頼れる人や福祉サービスが不十分なこと」25.5%、「健康や体力面から今まで通りに買い物や日常生活が出来なくなること」19.6%、「子供や孫の暮らし向きが厳しくなること」17.8%、「その他」5.0%という回答割合になりました。

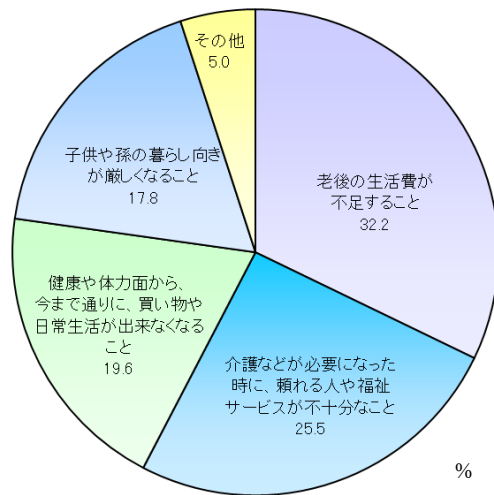


図6-1 将来の生活に対する安心感をもつ上で不安なこと (n=2,000)

## 6.2 性年代別にみる不安なこと —60代は生活費、70代の不安は多様—

- ◇ 性年代別の不安なことの回答割合は(次頁 図6-2)、60代では1位「老後の生活費の不足」男性40.0%・女性35.2%、2位「介護の対応」男性23.0%・女性26.4%、3位「子や孫の暮らし向きが厳しくなること」男性17.2%・女性19.4%、4位「健康や体力面から今まで通りに買い物や日常生活が出来なくなること」男性14.2%・女性15.8%という結果になりました。
- ◇ 70代になると、1位は男性「老後の生活費の不足」28.4%・女性「買い物や日常生活の不安」26.6%、2位は男女とも「介護の対応」男性26.8%・女性25.8%、3位は男性「買い物や日常生活の不安」21.8%・女性「老後の生活費の不足」25.0%、4位は男女ともに「子や孫の暮らし向き」男性16.6%・女性18%という結果になりました。ほとんどの選択肢が20%弱から30%弱の回答割となっており、60代の結果に比較して、生活の不安なテーマが各人の状態によってより具体的になるのか、回答が多様な傾向が現れていました。

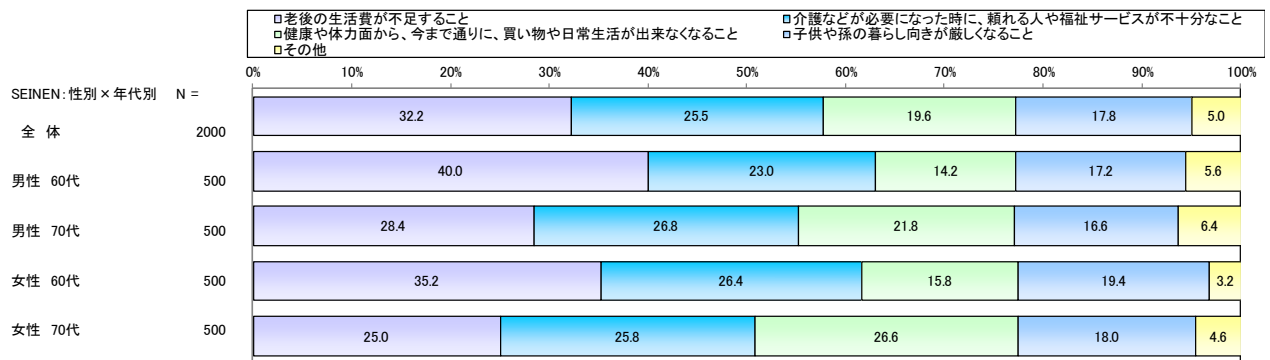


図 6-2 将来の生活に対する安心感をもつ上で不安なこと (n=2,000)

## 7. 参考：59歳以下の景気動向に対する意識 — 60代・70代との比較 —

- ◇ 本調査の対象が、就業を終了された年金受給者が大半の60代・70代の方であることから、年齢層による特徴の有無を確認するために、就業人口の多い59歳以下を対象に同日・同調査手法にて412サンプルを回収しましたので、以下参考情報としてご紹介します。

回答者内訳：59歳以下（推定50代85%以上）の男性163名 女性249名 計412サンプル

Q1：「現内閣になってからの一連の経済政策による景気の変化は、あなたの暮らしにとって望ましい方向に変化していると思うか？」

- ・望ましいと思う 20.6% (本調査：60代・70代 22.7%)
- ・望ましくないと思う 40.1% (42.3%)
- ・どちらとも言えない 39.3% (35.0%)

Q2：今の景気の変化を「望ましい」と回答した方(85人)対象「望ましいと思う理由は？」

- ・自分や家族の収入が実際に増えてきたから 12.9% (8.0%)
- ・今後景気がよくなりそうだから 67.1% (66.7%)
- ・その他の理由 20.0% (25.4%)

Q3：今の景気の変化を「望ましくない」と回答した方(165人)対象「望ましくないと思う理由は？」

- ・実際に収入が減ったり物価が上がったりして暮らし向きが厳しくなってきたから 58.2% (59.0%)
- ・今後景気が悪くなりそうだから 7.9% (7.9%)
- ・国の財政状態が一層悪くなりそうだから 23.7% (24.3%)
- ・その他の理由 10.3% (8.7%)

Q4：「消費税の増税によってあなたの暮らし向きに変化があると思うか？」

・あまり変わらないと思う	11.7%	(10.8%)
・少し厳しくなると思う	44.4%	(41.5%)
・大変厳しくなると思う	39.7%	(41.3%)
・どちらとも言えない	4.4%	( 6.5%)

Q5：「今より消費を増やすために必要なことは何だと思うか？」

・収入が増えること	37.6%	(16.2%)
・将来の生活に対する安心感	44.4%	(43.0%)
・心から欲しくなるような魅力的な 商品やサービスが増えること	5.6%	( 7.8%)
・今売られている商品やサービスの わかりやすい広告や説明	2.7%	( 7.9%)

Q6：「将来の生活に対する安心感をもつ上で不安なことは何か？」

・老後の生活費が不足すること	45.4%	(32.2%)
・介護などが必要になった時に頼れる 人や福祉サービスが不十分なこと	17.5%	(25.5%)
・健康や体力面から今まで通りに 買い物や日常生活が出来なくなること	11.9%	(19.6%)
・子供や孫の暮らし向きが厳しくなること	16.3%	(17.8%)
・その他	9.0%	( 5.0%)

- ◇ 各設問に対する本調査（60代・70代）の回答割合と50代を中心とした59歳以下の回答割合が10ポイント以上乖離している項目を赤字としました。
- ◇ Q6は、年代層によって回答割合が異なる設問といえますが、景気動向・消費に対する意識調査項目であるQ1～Q5においては、Q5の選択肢「収入が増えること」以外の回答割合には5ポイント台以上の乖離はみられず、60代・70代の回答割合とほぼ同様の傾向がみられる結果となりました。
- ◇ Q5「収入の増」の選択肢は、就業をしていない年金受給者が多い世代では回答割合が少ないことは自然な結果といえますので（本調査でも60代20.7%に対して70代12.4%）、就業人口の多い年代・少ない年代の結果と考えられます。
- ◇ 一般消費市場の拡大のために、就業人口の多い世代においては賃金を中心とした収入の増加が必要な要素と言えますが、最もポイントが高い項目は60代・70代同様「将来の生活に対する安心感」で全体の4割以上を占めるという結果になりました。

以上

## 会社概要

株式会社ジー・エフは、独自開発した「自動テレマーケティングシステム」(アウトバウンド IVR) を活用し、インターネットやモバイルだけではカバーしきれない『シニア世代』を対象としたマーケティング手法・情報を提供しております。

商号 株式会社ジー・エフ  
資本金 10 百万円  
設立 2010 年 2 月  
代表者 代表取締役社長 岡田 博之  
本社 〒135-0016 東京都江東区区東陽三丁目 22 番 6 号 東陽町 AXIS ビル 2F  
(2013 年 10 月本店住所移転し上記所在地となっております。)  
U R L <http://www.gf-net.co.jp> (コーポレートサイト)  
<http://www.senior-promo.com> (シニアマーケティング支援サイト)  
事業内容

- ・シニアデータベースを活用したリサーチサービス
- ・各種世論調査、市場調査、マーケティングリサーチ
- ・情報通信システムを活用したマーケティング代行
- ・情報システムの開発販売

### 【本調査に関するお問い合わせ先】

株式会社ジー・エフ

〒135-0016 東京都江東区東陽 3-22-6 東陽町 AXIS ビル

TEL:03-5633-7844 FAX:03-5633-7854

E-mail: [info@gf-net.co.jp](mailto:info@gf-net.co.jp)

調査データ引用の際は、「株式会社ジー・エフの調査結果によると…」等の明記をお願い致します